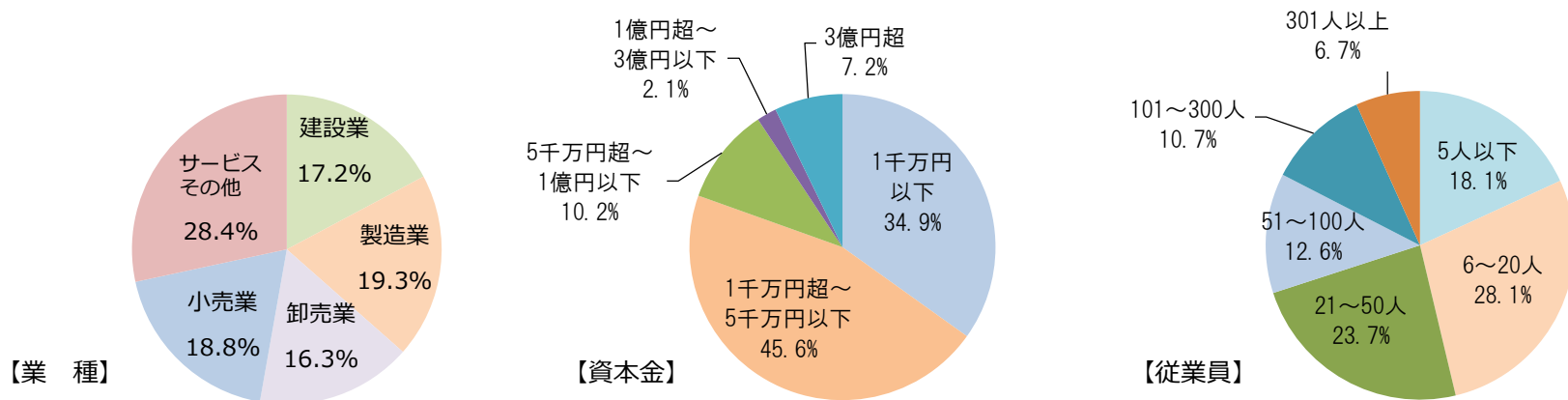


調査概要

1. 調査期間 2019年4月17日(水)～2019年5月8日(水)
2. 調査対象 札幌商工会議所定期景気調査 登録企業691社
3. 回答状況 436社 (回答率63.1%)
4. 調査項目
 - ①4月の業況と先行き見通し
 - ②付帯調査…2018年度の採用実績の動向
 - ③付帯調査…キャッシュレス決済を利用したポイント還元制度への対応

5. 回答企業属性

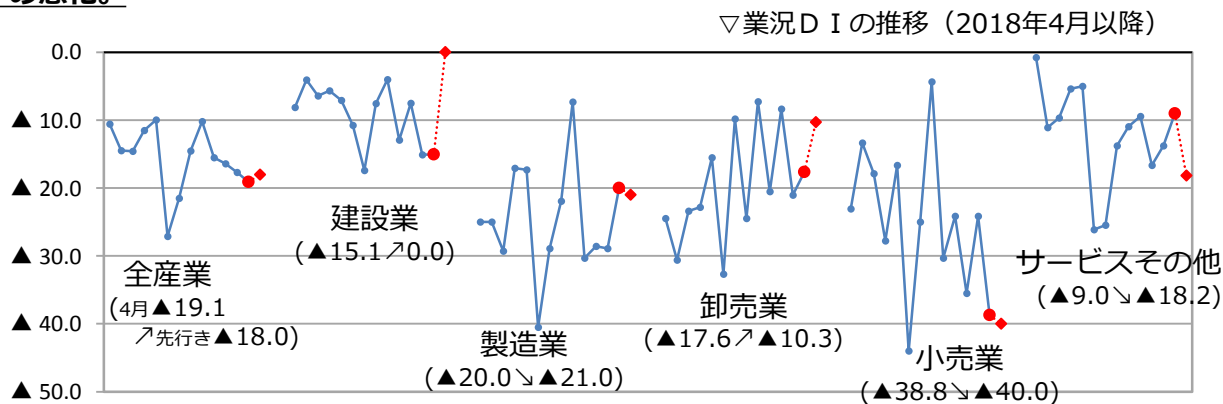


① 4月の業況と先行き見通し

※ ●4月DI ◆先行きDI

全産業合計の業況DIは▲19.1と、前月から▲1.4ポイントの悪化。
先行き見通しDIは▲18.0と改善を見込む。

	2019年		
	3月	4月	5～7月
全産業	▲ 17.7	▲ 19.1	▲ 18.0
建設	▲ 15.1	▲ 15.1	0.0
製造	▲ 28.9	▲ 20.0	▲ 21.0
卸売	▲ 21.1	▲ 17.6	▲ 10.3
小売	▲ 24.1	▲ 38.8	▲ 40.0
サービスその他	▲ 13.8	▲ 9.0	▲ 18.2



※DI値について…ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

※先行き見通しDI = 当月(3月)と比べた、向こう3ヶ月(4月～6月)の先行き見通し

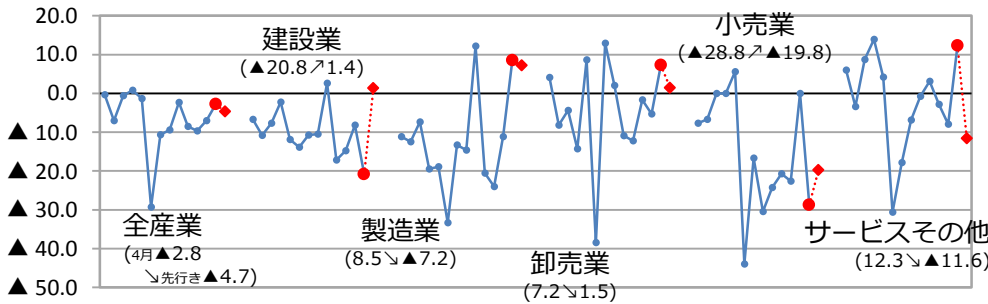
【例】

$$\text{業況DI} = \frac{(\text{好転} - \text{悪化}) \times 100}{(\text{好転} + \text{不変} + \text{悪化})}$$

1) 売上D I と先行き見通し

▽売上D I の推移 (2018年4月以降)

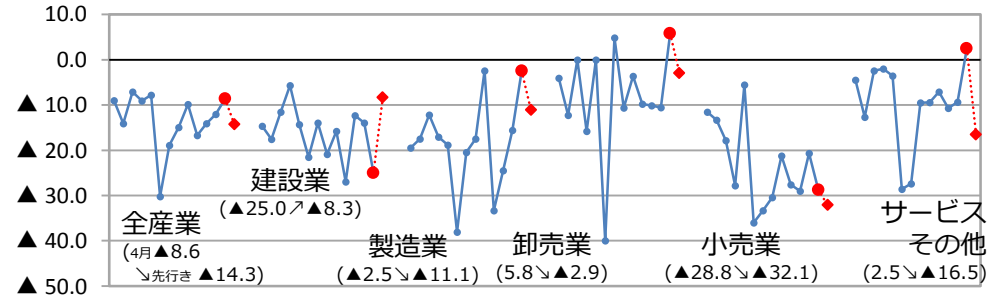
売上D I は▲2.8と前月から4.2ポイントの改善。
先行きD I は▲4.7と悪化を見込む。



2) 採算(経常利益)D I と先行き見通し

▽採算D I の推移 (2018年4月以降)

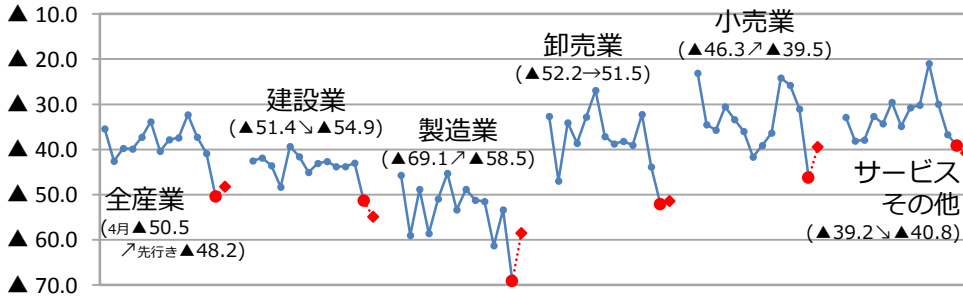
採算D I は▲8.6と前月から3.4ポイントの改善。
先行きD I は▲14.3と悪化を見込む。



3) 仕入単価D I と先行き見通し

▽仕入単価D I の推移 (2018年4月以降)

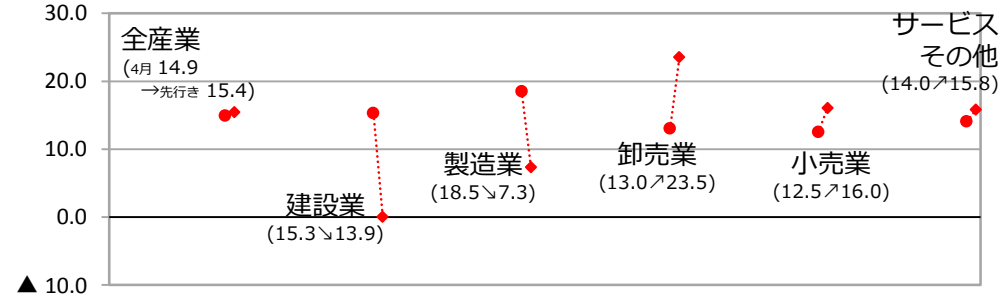
仕入単価D I は▲50.5と前月から▲9.6ポイントの減少で、価格上昇を訴える企業の割合が増加した。先行きD I は▲48.2と単価の下落を見込む。



4) 販売単価D I と先行き見通し

▽販売単価D I の推移 (2019年4月以降)

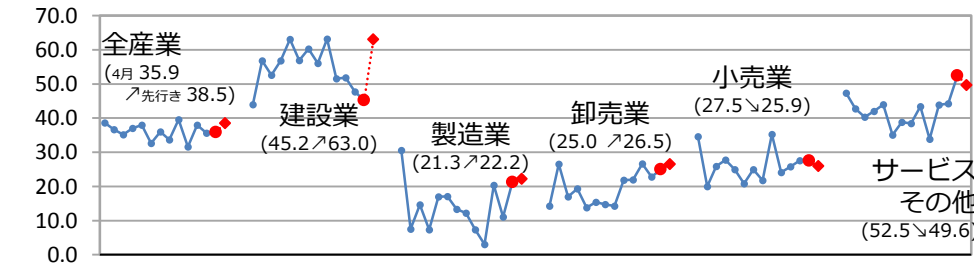
販売単価D I は14.9であり、先行きD I は15.4と横這いを見込む。



5) 従業員D I と先行き見通し

▽従業員D I の推移 (2018年4月以降)

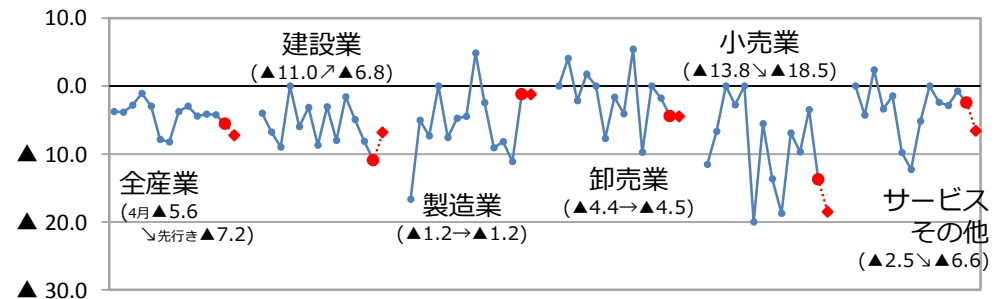
従業員D I は35.9と前月から0.2ポイントの増加と横這い。
先行きD I は38.5と人手不足感はやや強まる見通し。



6) 資金繰りD I と先行き見通し

▽資金繰りD I の推移 (2018年4月以降)

資金繰りD I は▲5.6と前月から▲1.4ポイントの悪化。
先行きD I も▲7.2と悪化を見込む。



②2018年度の採用実績の動向

- ▶ 2018年度の採用実績（全産業）について、「募集し、採用できた」と回答した企業は62.8%、「募集したが、全く採用できなかった」と回答した企業は9.0%となった。一方で、「募集しなかった」と回答した企業は28.2%と、前年同月調査時より3.0ポイント増加した。【図1-①】
- ▶ 業種別の採用実績をみると、「募集したが、全く採用できなかった」と回答した企業の割合は、建設業が最も多く17.6%であった。一方、「募集しなかった」と回答した企業の割合は、小売業が最も多く40.7%であり、次いで卸売業が35.7%であった。【図1-②】
- ▶ 採用の雇用形態としては、「正社員(中途)」と回答した企業が67.3%と、前年同月調査と同様に最も多く、次いで「正社員(新卒)」が41.5%、非正規社員が40.4%となった。【図2】
- ▶ 採用計画の充足状況について、「正社員(新卒・中途)・非正規社員」を問わず、「予定した人数を確保できた」と回答した企業は約6割に留まった。【図3】
- ▶ 一方、「予定した人数を確保できなかった」と回答した企業のうち、予定とは異なる雇用契約での採用については、「不足分の採用はしなかった」と回答した企業が圧倒的に多く、82.9%となった。【図4】

図1-①【2018年度の採用実績について（全業種）】

※円グラフ外側が今回調査、内側は前年同月調査

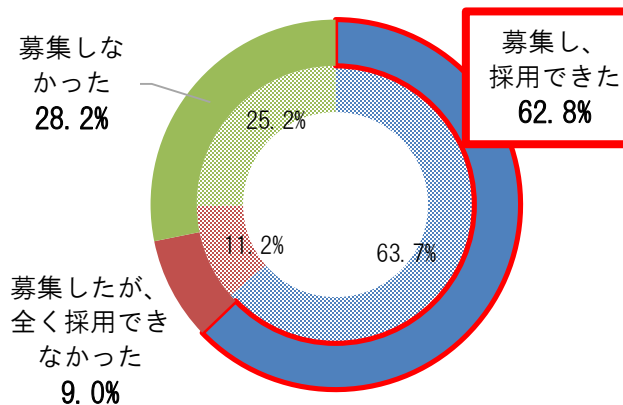


図2【採用の雇用形態】

(※複数回答)

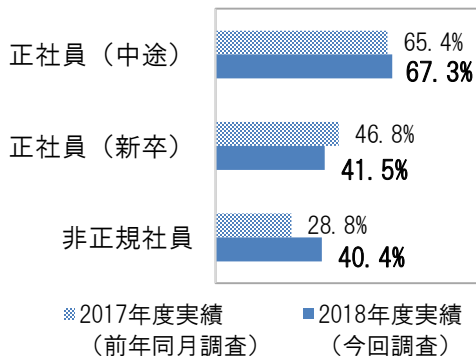


図3【2018年度の採用充足状況について】

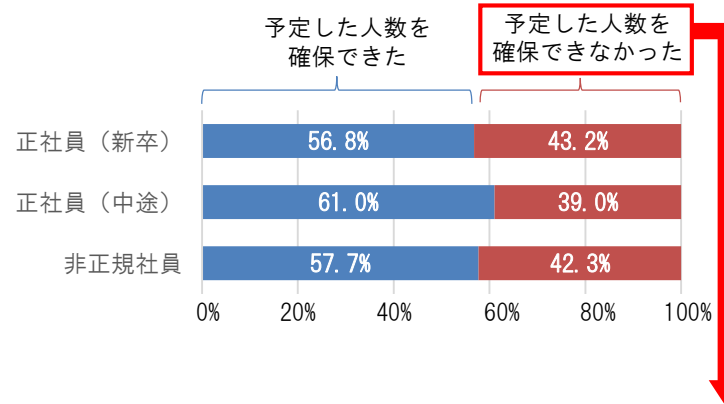


図1-②【2018年度の採用実績について（業種別）】

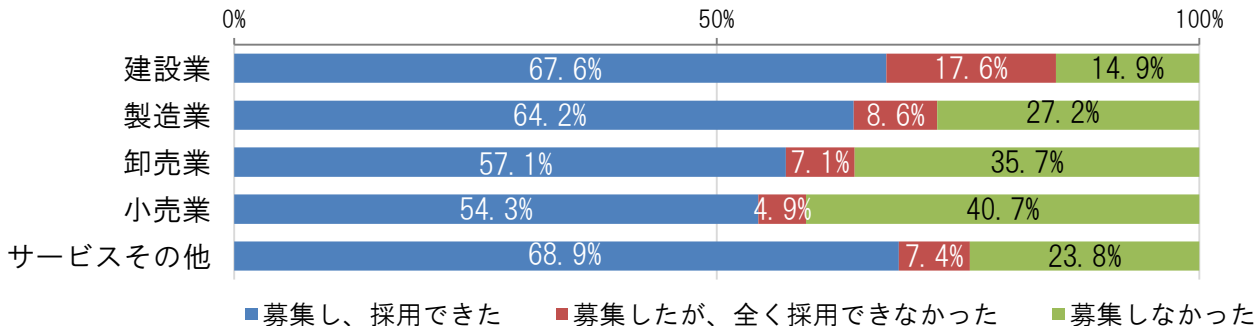
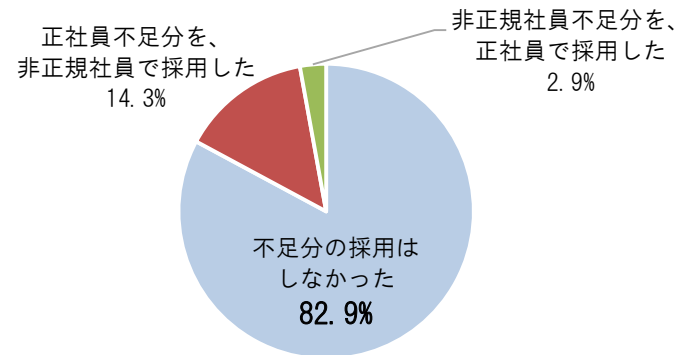


図4【予定とは異なる雇用契約の社員の採用状況】



③キャッシュレス決済を利用したポイント還元制度への対応

- ▶キャッシュレス決済を利用したポイント還元制度への対応について「申込を行う予定」と回答した企業は18.0%（うち、端末設置済企業は10.7%）、「申込は行わない」と回答した企業は41.9%であった。一方で、「制度の対象が分からない」は40.0%であった。【図5】
- ▶制度を利用するにあたっての懸念点は、「そもそも顧客からキャッシュレス決済のニーズがあるか不明」が45.4%、次いで「キャッシュレス決済用サービスを利用するための手数料負担」が25.7%となった。【図6】

図5 【ポイント還元制度に関する対応】

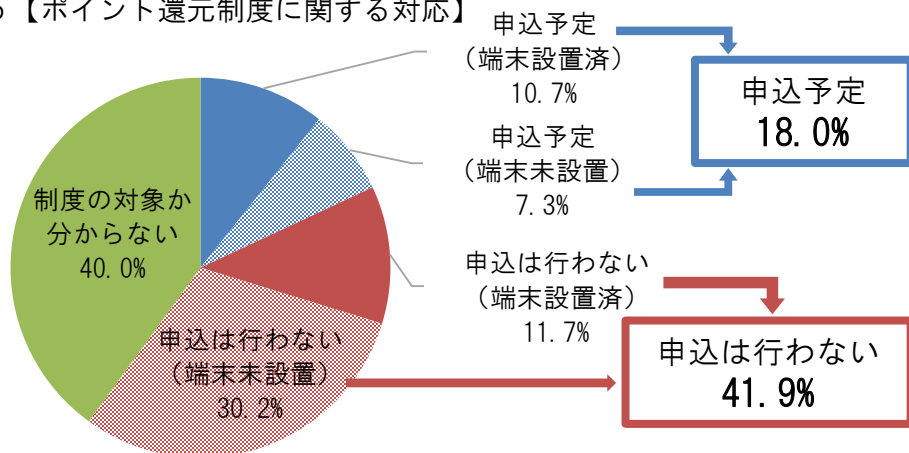
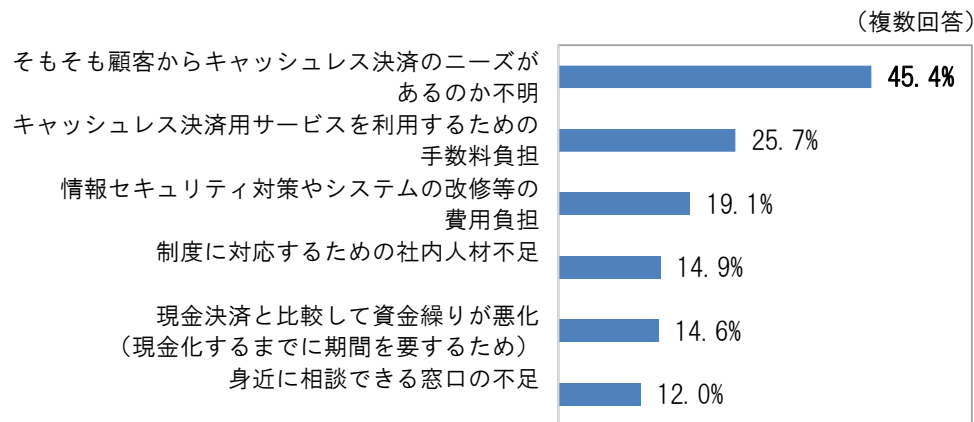


図6 【制度利用にあたっての懸念点】



(参考) 会員の声

- ▶建設機械の老朽化で入替の時期にきているが、資金の問題に加え、運転手の担い手不足もあり、自社での機械保有をしない選択肢も考えている。…【土木工事業】
- ▶当社のような零細企業は1~2名の採用で足りるが、募集しても応募が全くない。ホームページの作成等、人材募集の方法を模索している。…【管工事業】
- ▶パート・アルバイトの高齢化に伴い、募集をするも中々採用まで至らず、人の問題が一番の懸念事項である。将来的には、海外研修生の採用も含めて検討している。…【食品製造業】
- ▶従業員の最低賃金の上昇、仕入価格の上昇等を商品価格に転嫁できず、常に売上を伸ばす策を講じなければいけない。…【菓子製造業】
- ▶人手不足により作業・サービスの変化が必要である。…【食品卸売業】
- ▶増税による消費の冷え込みが不安である。働き方改革に対応するために新たな人材確保等の対策が必要となり、人員増に伴う採算確保が課題である。…【酒類小売業】
- ▶労働集約業種のため、人手不足による残業規制の対策や、有給休暇付与の管理体制の構築に苦慮している。…【ビルメンテナンス業】
- ▶仕入コスト・人件費の上昇に伴い、消費税率の改正時にどのような価格戦略をとっていくかが喫緊の課題である。…【飲食店】